

時事新報

第千八百六十八號
明治廿一年三月十九日

明治廿一年三月十九日

に古來承年間續々たる大戰爭にして國際の紛糾を決着せるにす分の効なめり而して實業は甚ざ少なからずして却て外交の談判もしくは仲裁の方途に依りて裁定したる紛糾は長く其痕を兩國の間に絶ちて平和の結局に終りたるの例を見るべし左れば往時一個人の面目を保つが爲めに行ひよる決闘の歐米諸國に於て殆

貿易上の關係にして
千餘哩の水運と利
ラシシステムはタキシ

時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞
送料廣告料ハ左ノ如キ
一枚三錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金二圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送込スルモノニ限リ本文及備ノ外ニ一
箇月二十六錢ノ郵資料ヲ申受け
時事新報廣告料前金

五錢活字	二付	一行二付	
一 行 廿 四 字 詰		一 日 限	
		二 日 以上	
		三 日 迄	
自 一 行 至 十 行	九 錢	十 錢	一 行 三 付
自十一行至卅行	七 錢	八 錢	二 行 三 付
三十一行以上	六 錢 五 厘	七 錢	六 日 迄
	五 錢 八 厘 五 毛	六 錢	七 日 以 上
	五 錢	五 錢	十五 日 迄
	五 錢	五 厘	十六 日 以上

兩國間の平和條約

方は戦争の雲に蔽はれ露國は

境内に探出して將さに中原に事あらんとし境國も之に應するの用意に猶豫せず獨逸の陽に平和を唱ふるも頻りに軍備の擴張に銳意し七十萬の増兵と一億の軍費支出を議決し隱然塊國と相持拂して露國の強梁を制せんとする其傍に佛國の國敵深讐、寸時も其怨を忘る能はずして獨逸の隙に乘ずるの機會を失はざれども其後に伊太利の新強國あり所謂三國（獨、塊、伊）同盟の一にして一旦有事の日にハ佛國の後を追蹤せんとするの勢あり今日歐洲の有様は實ニ危急切迫の秋にして讀者の言に據るも戰爭は到底免る能いざるべしと云へり斯く一方に於ては戰雲慘怛^{さんたつ}なる最中に當り我輩の落手したる最も喜ぶべに一報は英米兩國間に平和條約の計畫なる事なり蓋し平和條約とは兩國間に國際上の紛議起りたる時に從來の如く其曲直を干戈に訴ふる事となざす中裁法の手段に依頼し之と調停するの工風にして年來學者の間に行はれよる宿讖^{じゆてん}ある人或は今日の實際に於て其實行を疑ふ者あるべしと雖も熟らく事の體を察するに北米合衆國ハ立國以來常に外國との干涉を避け専ら國內の富安、榮盛を謀り偶々^{たまに}國際上の紛議と地位にある其上に米國とは貿易通商の關係、殊に繁多事に治まりたるの先例もある事なれば今日兩國の間に平和條約の成立を見る事は決して望なきの望にあらざるあり近着の米國ボストン府發覺の青年の友なる雜誌に左の一報を掲げたり

明治廿一年三月十九日(月曜日)
曹戊子二月七日(己、王)
第千八百六十八號
支那
月八千九百五十一分
日一千九百五十五年四月二十二分
年一千九百五十六年四月二十六分
(西曆一千八百八十八年)
は意味ある意見書と呈しアレ・ヌ・ヤ氏は近代科
學の進歩するに隨ひ殺人破壊の道具たる軍器の製造
を機巧を極め世界戦争の體面將さに一變せんと
する今日、仲裁法を實行するは實に目下の急務なり
との意を陳述し猶や此十年來歐洲諸國にてハ軍費の
支出、從前の二割五分に増加したる通例をも擧げた
り大統領は總代員に對して丁寧なる接拶とおし且つ
右の仲裁法は他年一日世界各國一般に採用する事に
致したしとの旨と答へたりと云ふ

にして目下の情勢承續する船はさるべしといひ今日識者
の通論なりと云へり勿論、歐洲目下の形勢にては戦争
の變或ひ免れ難いとするも厄運一たび去りて事局全く
一變すれば或ひ仲裁平和の説その勢力を得るに至るや
も亦未だ知るべからざる所なり兎も角に目下歐洲の戰
雲、懼怛たる其最中よりこの喜ぶべき一報を得たれば
我輩は之を紙上に譯載して讀者諸君と天下の奇觀と共に
にせんと欲する者なり

起り千八百七十二年終りたる英米兩國間の有名なる紛糾にして事の起りは米國にて彼の南北戦争の最中、南方の同盟政府より英國のビルケンへアトなるレーヤード會社に注文しアラバマと號する九百噸三百馬力蒸氣軍艦を製造せしり千八百六十二年五月に落成したるが英國政府にては右軍艦の性質に就き法律上の疑問起り一先づ其解纏を差し留めんとするに先づこと一日同艦の船長シムズ氏之七月二十八日タルセー港を發し其他バ南軍の軍艦と共に米國の海岸に出没して同國の商船に非常の損害を及ぼしりし千八百六十四年の六月に至り遂に北軍の軍艦ケールサルチ號の爲めに打破られたり千八百六十五年に至りアラバマ號は損害要償の事に就き英米兩國政府の間に談判を開き倫敦及び華盛頓の兩處に於て數回の談判ありふるも其議とかく繰りざるを以て千八百七十一年十二月に始めて仲裁委員會をセニーウィアに開き英米兩國を始め伊太利、瑞西、ブラツル諸國の委員相會して其事と協議したれども兩國の意見容易に相合せずして動もすれば破裂に及ばんとする事屢々なりしが遂に千八百七十二年九月に至り右仲裁委員の裁定にて落着を告げるなり（時事新報記者）

れ工業商業爲めに奮ふ而して其結局如何といふに戰
母の種子ハ全く絶えざるのみか其怨恨は却て益々
深火を加ふるに至るのみ、見るべし二百年以前佛國
は獨逸の州郡を略して之を己れの領地に併せたれど
も獨逸は失敗によつて其國土と失ひたるを甘んせず
千八百七十年に至り更に勃興し兵力を以て其州郡
を回復したり然るに佛國も亦これを安すからぬ事に
思ひ今日現に再び其州郡を侵略するに機會を待ちつ
ゝあるにひらずや其他猶ほ歴史に據りて之を繼せる

○英語通信 二月十一日發
合衆國日の出の三大都府及び府民の貧撫 合衆國中何れの招會を問はず何れの市街を論せず商賈日々に繁昌し戸口月に増殖する其の中にもイリノイ州のシカゴ府ニシカゴーク州のコウヨーク府及びカリフォルニア州のサンフランシスコ府は當時日の出ハ三都と稱へらるゝ程にて皆商業上の要地を占めニウヨークは歐洲と

雜報

○東港通信 二月十一日發

合衆國日本の出の三大都府及び府民の後援 合衆國中何れの都會を問はず何れの市街を論せず商賈日々に繁昌し戸口月に増殖する其の中にもイリノイ州のシカゴ府ニ名居一ク州のニウヨーク府及びカリフォルニア州のサンフランシスコ府は當時日本の出で三都と稱へらるゝ程にて皆商業上の要地を占めニウヨークは歐洲と